

さかた歴史さんぽ

歩けばまちが好きになる。
知ればもっと好きになる。

6

しぐれつき
|| 時雨月のさんぽ ||



岡市政策推進課政策推進係 ☎26-5704

粋な黒塀 見越しのタブノキ

本町から日和山界隈をまち歩きすると、黒い板塀を巡らせた町家がぽつんぽつんと残っている風景に出会います。黒塀の上からのぞいているのは青々と植栽の組み合わせによって、酒田の人々は、強い季節風や西日から家を守り、火災の延焼を防いできたと言われています。

最も象徴的な例は、今から37年前の昭和51（1976）年10月29日に発生した酒田大火の際、炎の通り道にあったにも関わらず、築二百年を超えていた本間家旧本邸が燃えずに残ったことでしょうか。旧本邸には築地塀が巡り、南西の隅にはタブノキの葉が茂っています。葉一枚一枚の面積は小さくとも、水分を含んだ常緑の葉が何千枚と重なれば、火の粉から建造物を守る緑の鎧になります。北西側には燃えにくい土蔵を配し、

さらに主屋軒先の木部を銅板ですっぽりと包み込むことで、容易に火が入らないように工夫されています。

黒塀とタブノキと町家。この酒田ならではの組み合わせは、ただ懐かしくて落ち着いた風情を醸し出すだけでなく、防災上、とても理にかなった風景なのですね。



◀本間家旧本邸の築地塀とタブノキ

◀旧本邸主屋軒先の銅板と漆喰

▲黒塀とタブノキのある町家

監修／本間家旧本邸

あんしん

消費生活

54

屋根工事の契約トラブル

「近くで工事しているのであいさつに来た」などと訪問し、「お宅の鬼瓦が傾いているのが気になってきた、隣の家に落ちたら大変だ、今なら1千円で直してあげる」と言われ直してもらったが、作業終了後さらに「瓦が浮いている、このままでは雨漏りするるので屋根全体を工事したほうがいい」と不安をあおり高額な契約を取り付ける手口が見受けられます。この他にも今

なら通常料金の○割引き」などと契約をせかし、長時間居座られて勧誘されるなどのケースもあるようです。この時期、台風や大雪など自然災害に備えなければと修繕を考える方も多いと思いますが、決してその場で契約せず、複数業者から見積もりを取り、慎重に検討しましょう。訪問販売での契約は工事が終わっていてもクーリング・オフが可能な場合もありますので、市消費生活センターに相談してください。

岡市消費生活センター ☎26-5761
(市役所1階まちづくり推進課内)

東北公益文科大学

キャンパスレポート 18

酒田市へのインターンシップに参加して

林 洸也(3年)

私は8月26日からの一週間、酒田市へのインターンシップに参加しました。その中で特に印象に残っているのはまちづくり推進課地域づくり係での実習です。実習ではまず、職員の方からボランティア・NPO活動全般に関する講義を受けた後、市内にある「にこっと」「パートナーシップオフィス」「いぶき」などのNPO団体を訪問しました。この実習から、ボランティアとは何か、NPO団体ではどのようなことを行っているのか、より具体的に学ぶことができました。またボランティアには多種多様な活動があることを知りました。

私は大学で「ボラぼっけ」という震災ボランティアのサークルに所属しています。今回の実習で学んだことをこれからのサークル活動に生かし、より充実した活動につなげていきたいと思っています。



岡東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117



本社工場



製造部 渡部 修さん(左)
包装部 相蘇 りかさん(右)

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。



丁寧に、丹精に、変わらない製法

当社は創立25周年にあたる今年、庄内町から平田軽工業団地へ移転しました。8月から新しい工場が稼働し、カステラやどら焼きを製造しています。

主力のカステラは「蜂蜜カステラ」を中心に10種類以上を製造しています。長崎カステラ本来の製法を創業時から守り続け、油脂や添加物を使用しない商品づくりを目指しています。このため焼き上げが難しく、熟練の職人が気温や湿度、生地の状態に応じて細やかに調整し、ふっくらと程良い食感に仕上げます。焼き上がり後は食べやすいサイズに切断し、機械任せにせず、人の目で丁寧に仕上りをチェックします。

シンプルだから人気のだけわん

原材料は卵、砂糖、小麦粉、水あめ、蜂蜜といったってシンプル。国産の小麦粉や砂糖をはじめ、卵は地元契約養鶏場から仕入れるなど、産地と品質にこだわっています。

商品は地元スーパーなどで取り扱っているほか、関東方面でも好評をいただいています。工場では、規格外品や予算に応じたギフト商品を手頃な価格で販売しています。ぜひお試しください。

【企業の概要】

沿革 昭和57年東京にて創業、昭和63年現在の庄内町狩川に山形工場を設立、同年山形工場を本社とし商号を「有限会社たんばや製菓」とする、平成25年8月酒田市飛鳥に本社工場を移転
商号 有限会社たんばや製菓
資本金 500万円
住所・電話 酒田市飛鳥字大林717-5 ☎61-7320
代表取締役社長 佐々木 利明
従業員数 37人
事業内容 カステラ、どら焼きの製造



自社ブランドによるカステラやどら焼き。市内ではト一屋、コープ、マックスバリュ、イオンで販売されています。



カステラ焼き上がりの様子。大きな型で焼き上げます

新刊紹介

図書館 ☎24-2996

一般図書

絵ごよみ昭和のくらし

亀井三恵子 / 著
河出書房新社

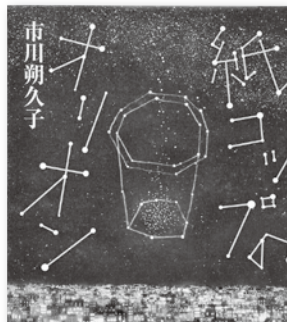


男の子のような女の子だった幼稚園時代、ドリルの裏に絵を描き続けた小学生時代、旧制の女学校時代…。昭和4年生まれの現役漫画家の著者が、楽しくも、ちょっとほろ苦い昭和の思い出をイラストで振り返る。

中高生向け

紙コップのオリオン

市川朔久子 / 著
講談社



旅に出た母を待ちながら、中学2年生の論理は学校の創立記念行事のキャンドルナイトで校庭に冬の星座を描く。自分と自分を取り巻く人たちのことを考えはじめた論理は…。人と人との「つながり」のもどかしさ、愛おしさを描く。

児童絵本

いやっ!

トレーシー・コーデュロイ / 作
ティム・ワーンズ / 絵
三辺律子 / 訳
ブロンズ新社



みんなにかわいがられているアーチャー。ある日、新しく覚えた「いやっ!」という言葉ばかり使っていたら大変なことに…。イヤイヤ期に手を焼いているパパとママにおくる絵本。

◆図書館の本はインターネットでも検索できます。ホームページのアドレスは、<http://library.city.sakata.lg.jp/>